

安全データシート(SDS)



SCスター

バージョン 1.0 1/7
作成日 2017年2月24日
改定日

1. 化学物質等及び会社情報

化学品の名称(製品名) SCスター

会社名 マチダコーポレーション株式会社
住所 群馬県前橋市駒形町618
部署名 R&Dセンター
電話番号 027-266-1215
ファックス番号 027-290-4049
電子メールアドレス 100years-block@machidacorp.co.jp
漏洩・事故時緊急連絡先 027-266-1215

推奨用途 工業用
撥水・撥油剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類 GHS分類基準に該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名 有機シラン および 水 を主成分とする調剤

4. 応急措置

吸入した場合 エアロゾルやミストを吸入した場合、新鮮な空気のある場所へ移動する。
必要に応じて医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合 多量の水と石鹸で洗うこと。
必要に応じて医師の診察を受けること。

眼に入った場合 まぶたを開いた状態で多量の水で完全に洗い流すこと。
不快感が続く場合、医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合 水で口をすすぐこと。
多量に吸収した場合や不快感がある場合、医師の診察を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 知られていない。

医師に対する特別注意事項
応急措置をする者の保護 多量の物質を摂取した場合、活性炭の投与を行う。
また、消化器官からの排泄を促進させる。

5. 火災時の措置

消火剤 水噴霧、泡、二酸化炭素、粉末消火剤

使ってはならない消火剤 データなし

特有の危険有害性 化学火災時の標準的な手順をとる。

安全データシート(SDS)



SCスター	バージョン	1.0	2/7
	作成日	2017年2月24日	
	改定日		

特有の消火方法 消火用水を排水設備、土壌等に流入させないこと。
十分な消火用水供給施設を確保すること。
火災焼残物及び汚染された消火用水は回収し、
国及び地方自治体の条例に従って処理すること。

消火を行う者の保護 酸素ボンベ付きの耐熱性保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項
保護具及び緊急時措置** 保護具を使用する。

環境に対する注意事項 下水道、土壌、地下水、排水設備等に流入させないこと。

**封じ込め及び
浄化の方法及び機材** 不活性吸収材(砂、シリカゲル、酸結合剤、万能吸収剤、おがくず等)
で吸い取ること。
ラベルをつけた密閉できる容器に入れること。
関係法令に従って廃棄処理すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

・ 取扱い

技術的対策 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、
保護具を着用すること。

安全取扱注意事項 ミスト/エアロゾルを吸入しないこと。
眼、皮膚との接触を避けること。
静電気の発生に対する予防措置を講じ、着火源から遠ざけること。

接触回避 「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
休憩前及び作業終了後は顔や手を洗うこと。
汚染された衣服は脱ぎ、洗濯すること。

・ 保管

混触禁止物質 データなし

安全な保管条件 容器を密閉し、涼しく換気の良い場所で保管すること。
提供された容器中に密閉すること。
霜にあてないこと。

安全な容器包装材料 推奨材料 データなし
不適切材料 データなし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 蒸気/エアロゾルが発生する場合、十分な換気を行うこと。

保護具 適切な労働衛生および安全対策を講じて取り扱うこと。
指令89/686/EECの条件にあった保護具を使用する。

安全データシート(SDS)



SCスター	バージョン	1.0	3/7
	作成日	2017年2月24日	
	改定日		

多量の物質が発生(漏洩、流出、粉じん)した場合、適切な呼吸用保護具を着用すること。

皮膚/眼への接触の可能性がある場合、指示された手/眼/身体保護具を着用すること。眼、皮膚への接触を避けること。

呼吸用保護具

粉じん/蒸気/エアロゾルが発生した場合(スプレー作業等)、適切なフィルター(複合フィルタータイプABEK)付の呼吸保護器あるいは自給式呼吸器を着用すること。

CEマークに準ずる呼吸用保護具のみを使用すること。呼吸器のフィルター等級は、製品取り扱い中に生じるガス、蒸気、エアロゾル、粒子に最適なものを選択すること。

自給式保護具を使用する場合、着用限度時間に注意すること。

手の保護具

ブチルゴムあるいはフッ素ゴム製の保護手袋

眼の保護具

安全眼鏡

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	液体
形状	液体
色	無色透明
臭い	ほとんど無臭
pH	4 (1000 g/l) (20°C)
融点/融点範囲	データなし
沸点/沸騰範囲	100°C (1013 hPa) 方法: ASTM D-1120
引火点	> 90°C 方法: DIN EN ISO 2719 (ペンスキーマルテンス密閉式)
燃焼性(固体、気体)	データなし
燃焼又は爆発範囲の下限	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限	データなし
蒸発率	データなし
密度	1.008 g/cm ³ (20°C) 方法: DIN 51757
水に対する溶解度	混和する

安全データシート(SDS)



SCスター	バージョン	1.0	4/7
	作成日	2017年2月24日	
	改定日		

n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
動粘度	1.0 mPa・s(20°C)

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用条件下では危険な反応は知られていない。
化学的安定性	推奨された保管条件下において安定。
安定性	データなし
危険有害反応可能性	危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	蒸気は空気と爆発性混合物を形成することがある。
混触危険物質	知られていない
危険有害な分解生成物	知られていない
可燃性ガスの発生	データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	LD50 ラット: >2000 mg/kg 方法: OECD テストガイドライン 423
急性毒性(吸入)	LC50 ラット: >5.5 mg/l / 4 h テスト環境: 粉じん/ミスト 方法: OECD テストガイドライン 403
急性毒性(その他の投与経路)	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギ 皮膚刺激性なし 方法: OECD テストガイドライン 404
眼に対する重篤な損傷 又は眼刺激性	ウサギ 眼刺激性なし 方法: OECD テストガイドライン 405
呼吸器感作性又は皮膚感作性	(Magnusson-Kligman試験) モルモット: 皮膚感作性なし 方法: OECD テストガイドライン 406
生殖細胞変異原性(in vitro)	Ames試験: Salmonella typhimurium 変異原性作用の証拠なし 方法: OECDテストガイドライン 471
生殖細胞変異原性(in vivo)	データなし

安全データシート(SDS)



SCスター	バージョン	1.0	5/7
	作成日	2017年2月24日	
	改定日		

発がん性	発がん性のおそれの証拠なし。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分: 特定標的臓器毒性(単回暴露)として区分されない。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分: 特定標的臓器毒性(反復暴露)として区分されない。
吸引性呼吸器有害性	吸引性呼吸器有害性は報告されていない。

12. 環境影響情報

・生態毒性

魚への毒性	LC50 ゼブラフィッシュ(Brachydanio rerio) : > 1000 mg/l / 96 h 方法: OECD テストガイドライン 203
	LC0 ゼブラフィッシュ(Brachydanio rerio) : ≥ 1000 mg/l / 96 h 方法: OECD テストガイドライン 203

追加情報 当社が持っているデータでは廃棄時の環境有害性の確認を強制するものではない。

・残留性・分解性

生分解性	暴露時間: 28日 結果: 62 % 易生分解性 方法: (CO ₂ ;修正 Sturm試験 / OECD 301 B)
------	---

・環境に関するその他の情報

生体蓄積性	低い
土壌中の移動性	移動性は低い
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にすること。</p> <p>廃棄においては、関連法規及び地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、又は地方公共団体がその処理を行っている場合には、当該業者又は団体に委託して処理すること。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。</p>
汚染容器及び包装	<p>関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>

安全データシート(SDS)



SCスター

バージョン
作成日
改定日

1.0 6/7
2017年2月24日

14. 輸送上の注意

国際規制

輸送/その他の情報 輸送法規上の危険物に分類されない。

国内規制

陸上輸送 消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法、道路法等の規定に従う。

海上輸送 船舶安全法、港則法、IMDG等の規定に従う。

航空輸送 航空法、ICAO/IATA等の規定に従う。

15. 適用法令

・ 労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則 該当しない

有機溶剤中毒予防規則 該当しない

製造の許可を受けるべき有害物 該当しない

変異原性物質(既存) 該当しない

変異原性物質(新規指定) 該当しない

製造等が禁止される有害物 該当しない

表示対象物質 該当しない

健康障害防止指針公表物質 該当しない

鉛中毒予防規則 該当しない

四アルキル鉛中毒予防規則 該当しない

通知対象物質 該当しない

労働安全衛生法施行令
別表第一(危険物) 該当しない

・ 化学物質排出把握管理促進法 該当しない

・ 毒物及び劇物取締法 該当しない

・ 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 特定化学物質、監視化学物質は含まれていない。

安全データシート(SDS)



SCスター	バージョン	1.0	7/7
	作成日	2017年2月24日	
	改定日		

16. その他の情報

追加情報

この安全データシートに記載されている情報は、作成日において弊社が入手できた情報であり、法令の改正又は新しい知見に基づいて改訂されることがあります。この情報は、当製品についていかなる保証をするものでもありません。この情報は、当製品のみを対象とするものであり、当製品が他の物質等と組み合わせて使用される場合を対象とするものではありません。この情報は、当製品の通常の見取りを
対象とするものであり、使用者の特別な用途に対する適合性、安全性等については弊社の管理外の
事項となりますので使用者自身の責任においてご判断下さい。